

2026年3月期 決算説明資料

2026年6月11日

東証 スタンダード
名証 プレミア

証券コード
6325



Takakita

1 2026年3月期 決算の概要

2 当期の業績予想

3 第2期中期事業計画

参考資料（事業概要）

1 2026年3月期 決算の概要



【農業機械事業】

- 米価高騰による水田市場での需要回復

有機肥料散布機が堅調

- 除雪作業機の早期受注

- 機械投資マインドの低迷
- 食用米への作付け拡大の影響

細断型シリーズの受注減少

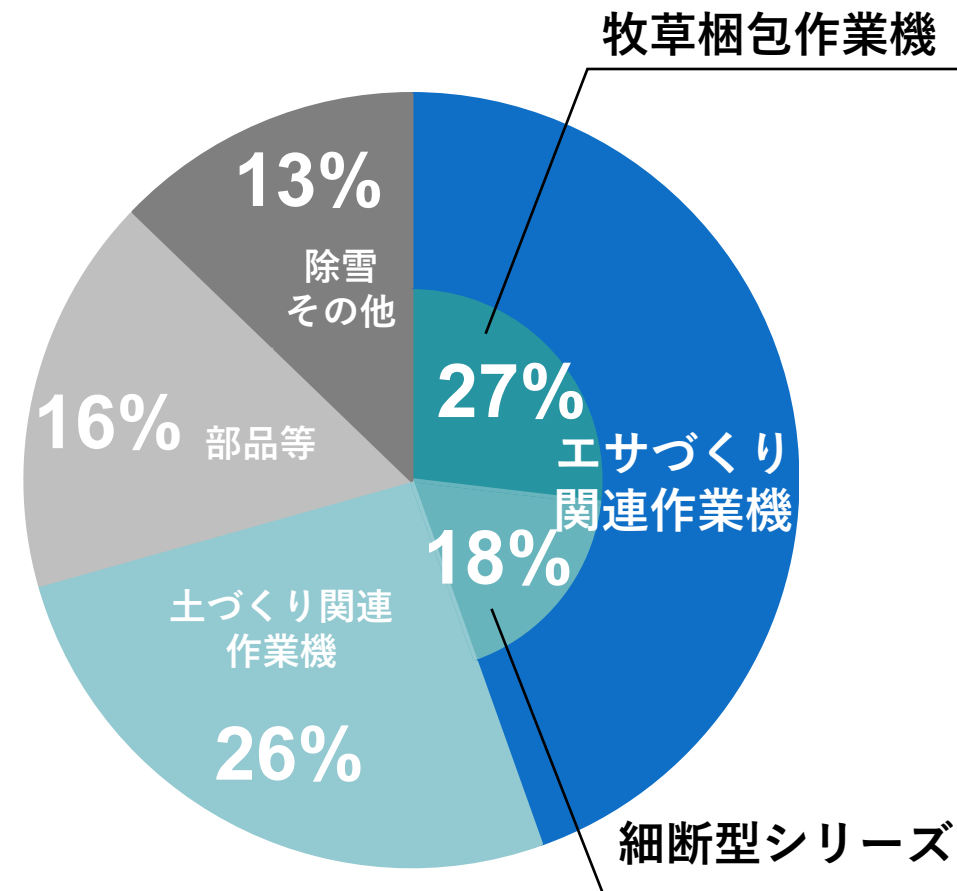


国内

売上高 **59億24**百万円

前期比 **4.1%**減収

部門内 売上高 構成比



【農業機械事業】

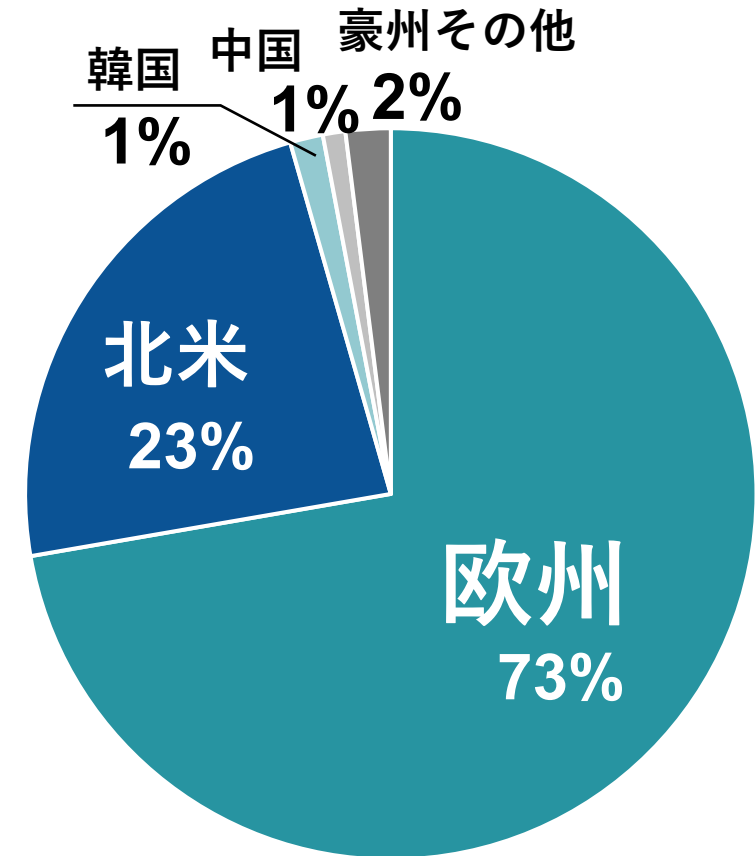
- ・ 欧米市場が堅調に推移
- ・ 韓国市場における値上げ前の駆け込み受注による反動



海外

売上高 **2億8**百万円
前期比 **45.1%**減収

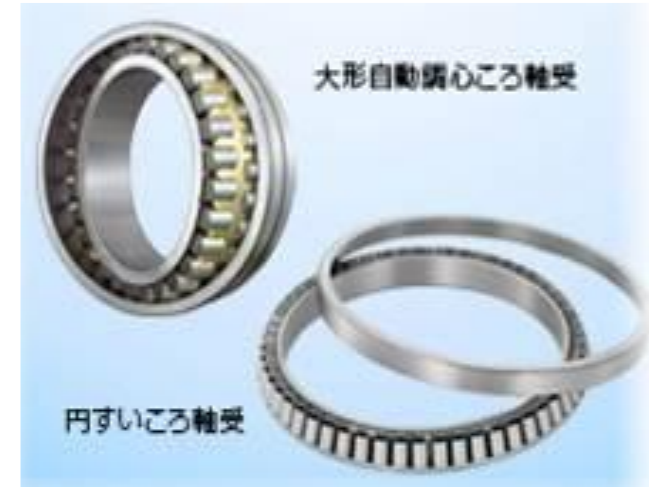
部門内売上高 構成比



【軸受事業】

得意先からの受注
減少により減収

売上高 **4億15**百万円
前期比 **7.2%**減収



2026年3月期決算のポイント

売上高

7,007
6,548

2025/3期 2026/3期

△6.6%

営業利益

344
326

2025/3期 2026/3期

△5.3%

経常利益

399
376

2025/3期 2026/3期

△5.9%

当期純利益

566
205

投資有価証券
売却益の反動

2025/3期 2026/3期

△63.7%

(単位：百万円)

2026年3月期決算の概要

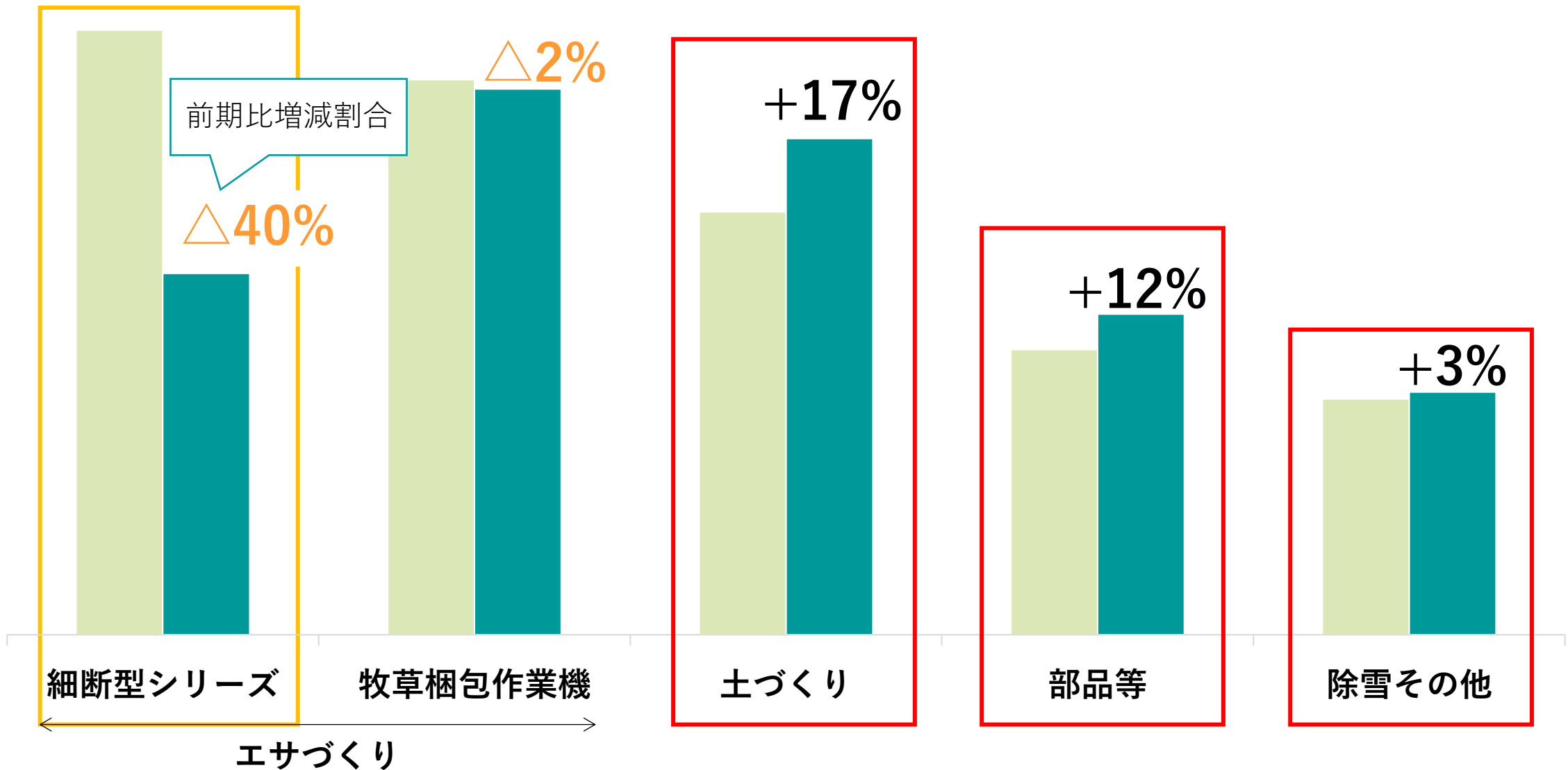
(単位：百万円)

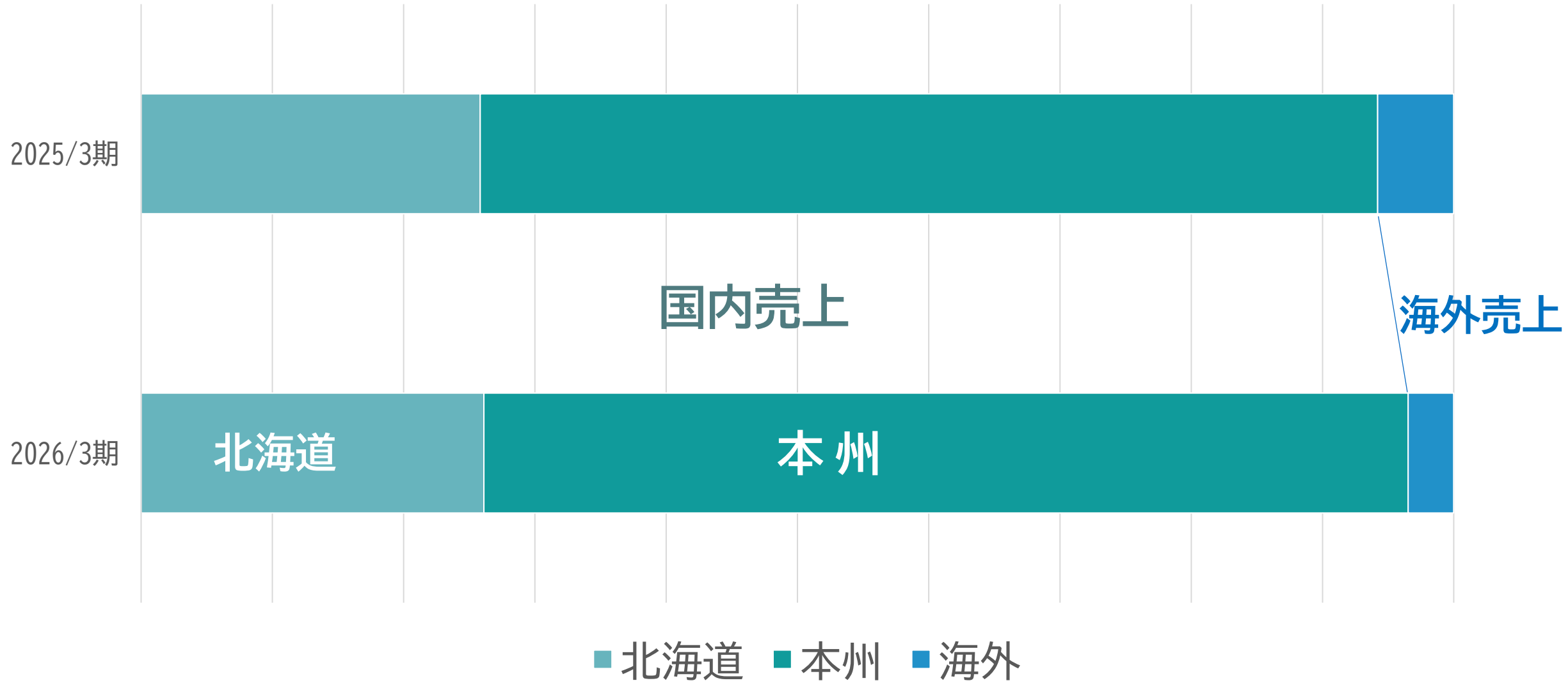
	2025/3期		2026/3期					
			予想 (10月31日公表)		実績			
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	金額	売上高比率	前期比	
売上高	7,007	-	6,600	-	6,548	-	△ 6.6%	
営業利益	344	4.9%	210	3.2%	326	5.0%	△ 5.3%	
経常利益	399	5.7%	252	3.8%	376	5.7%	△ 5.9%	
当期純利益	566	8.1%	168	2.5%	205	3.1%	△63.7%	

■セグメント内訳(セグメント相殺前)

セグメント	科目	2025/3期	2026/3期	前年比
農機	売上高	6,559	6,132	△ 6.5%
	営業利益	324	307	△ 5.3%
軸受	売上高	448	415	△ 7.2%
	営業利益	△20	△13	-

■ 2025/3月期 ■ 2026/3月期



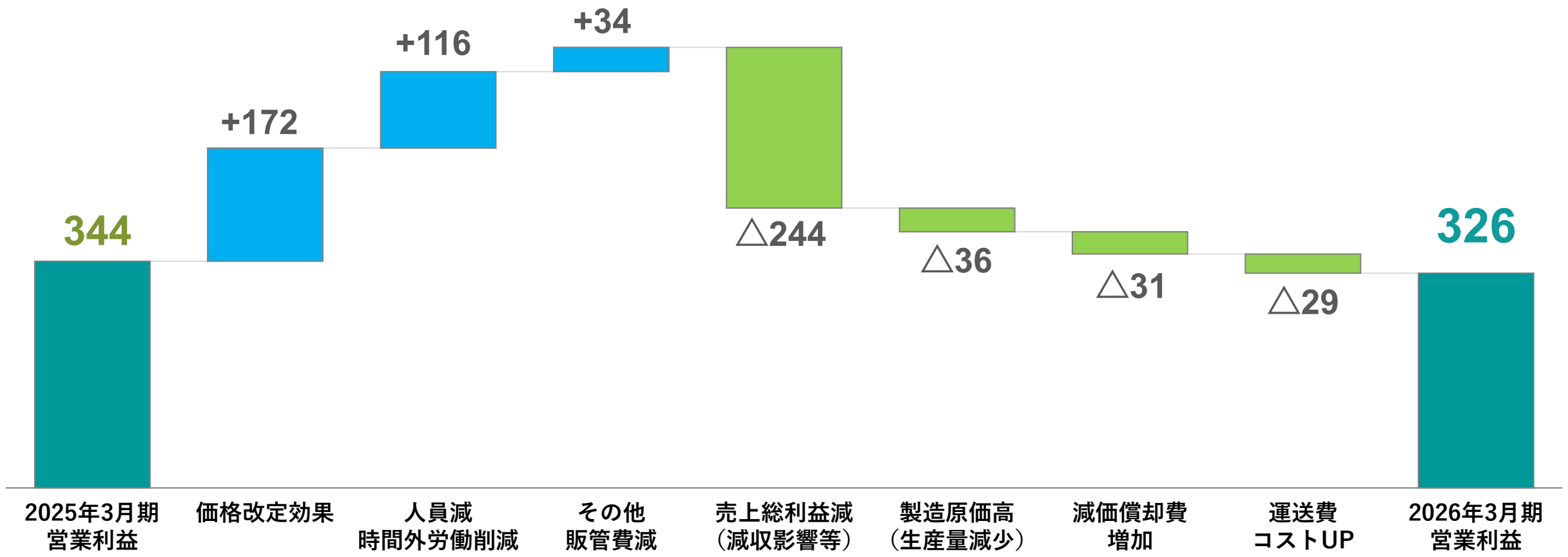


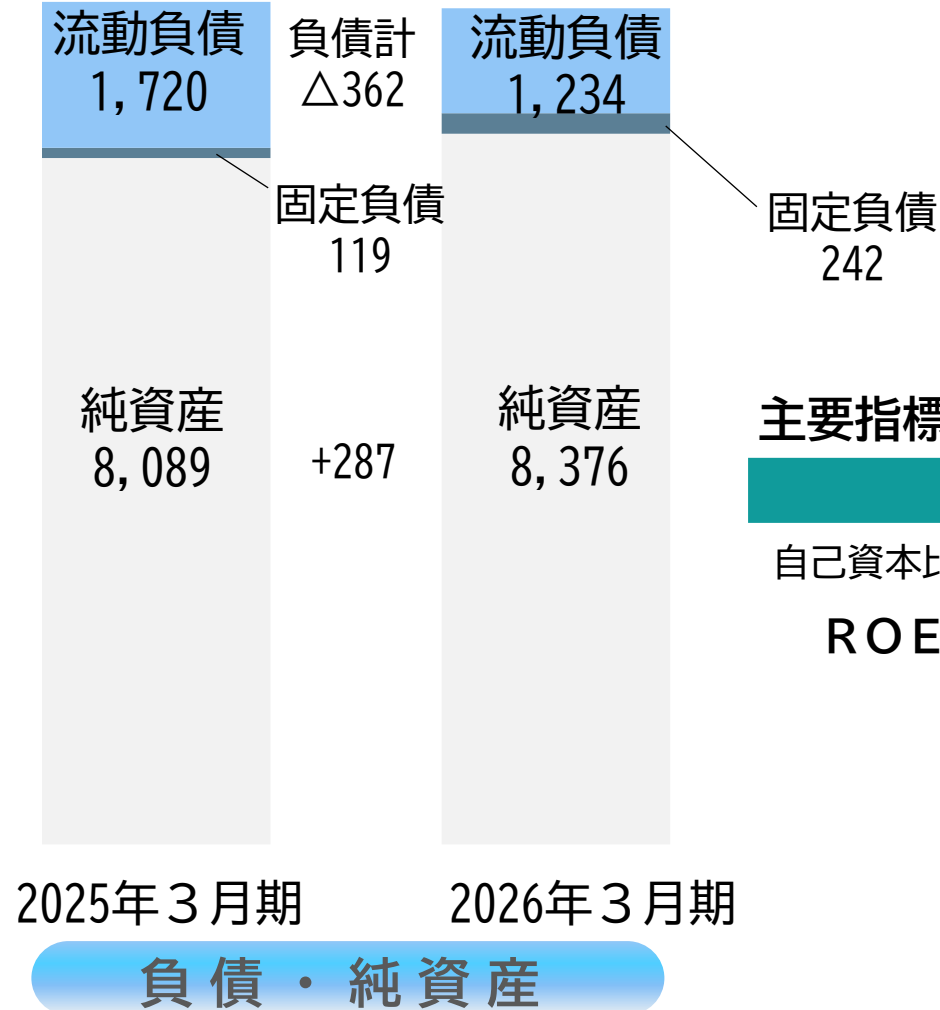
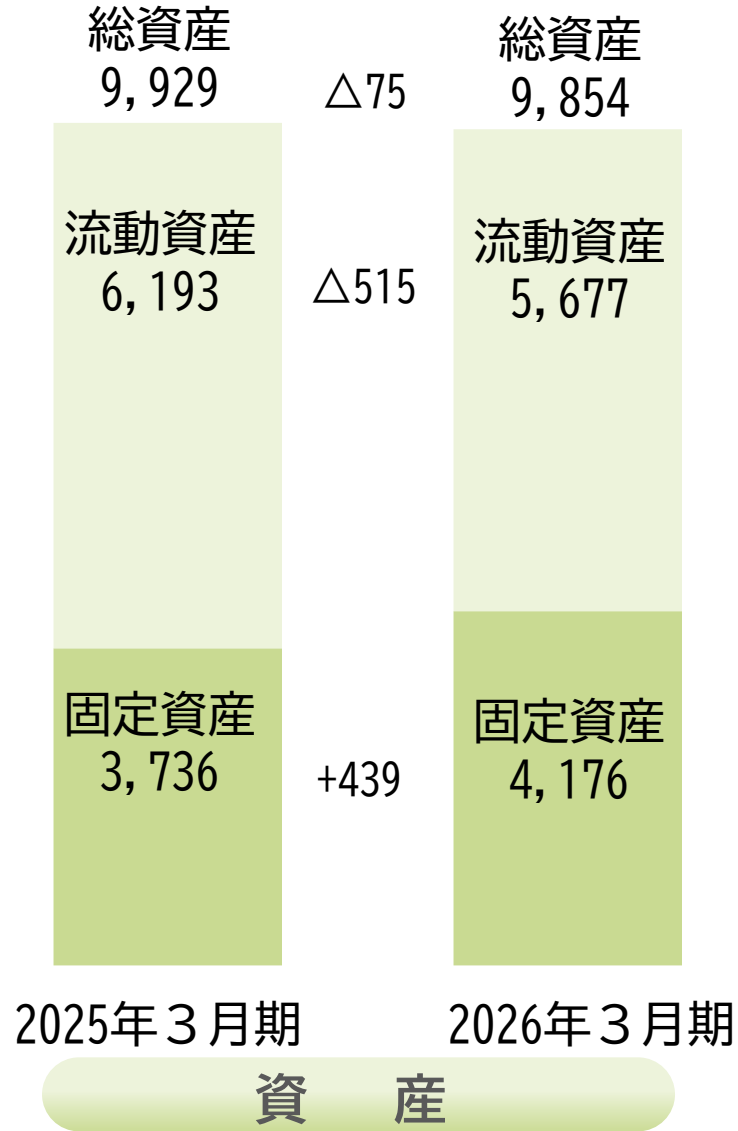
2026年3月期 営業利益増減内訳（前期比）

- ・ 価格改定効果
- ・ 人件費の減少
- ・ 販管費削減、その他

- ・ 売上高の減少
- ・ 生産量の減少による製造原価高
- ・ 減価償却費負担の増加、運送費増加

（単位：百万円）





主要指標の推移

	2025/3	2026/3	増減
自己資本比率	80.7%	84.2%	+3.5pt
ROE	7.2%	2.5%	△4.7pt

2

当期の業績予想



前提

- ✓ 中東情勢の緊迫化によって、以下のような影響が想定されますが、現時点では合理的な算定が困難なため、2027年3月期の業績予想に現段階では未反映です。
- ✓ 今後の業績への影響が大きくなる場合は、判明した段階で速やかに開示いたします。

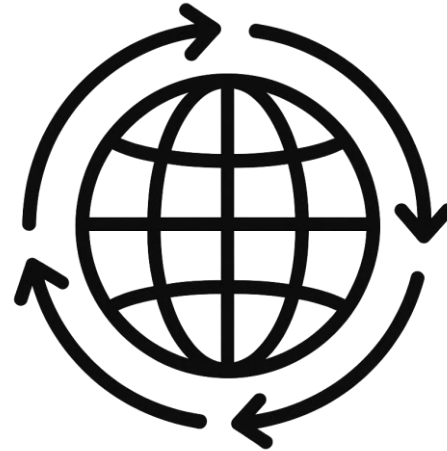
中東情勢の悪化により想定される影響と対応策

想定される主な内容	想定される影響	対応策
原材料や油脂類などの価格上昇および調達環境の不安定化	2027年3月第1四半期決算への影響は軽微。第2四半期以降はサプライヤーからの情報をもとに影響額を試算中も現段階で合理的な算定は困難。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調達先の分散と重点部材の確保 ・ 在庫水準の適正管理 ・ 生産計画の柔軟な運用 ・ 内製化促進と生産効率改善の継続 ・ 価格改定
燃料・肥料価格の高騰による農家経営の深刻化・投資意欲の低迷	一定の影響の可能性は想定も現段階で合理的な算定は困難。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需要が堅調な分野に販売を重点化 ・ 国産メーカーならではのソリューションとアフターマーケット戦略の強化



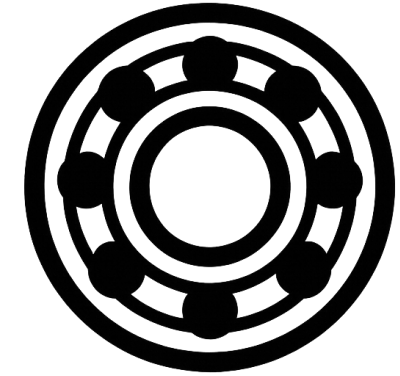
国内農機事業

- 複合作業機の拡販
- 土づくり関連作業機の増販
- 新製品の市場投入による、水田・畑作・果樹分野における潜在需要の掘り起こし



海外事業

- 堅調に推移する欧米市場
- 韓国市場での在庫一巡による需要回復
- 豪州・中南米・インド・ASEAN地域への多角的な展開



軸受事業

- 軸受部品にとどまらない加工領域への事業拡大

増益要因

- 製品の価格改定効果
- 内製化の進展による原価低減
- 継続的な業務改善・経費削減活動

減益要因

- 人的資本に係る経費増加

70 億円

前期比

6.9%増

売上高

3億46 百万円

前期比

6.0%増

営業利益

3億78 百万円

前期比

0.5%増

経常利益

2億48 百万円

前期比

20.6%増

当期純利益

※中東情勢の緊迫化により、原材料の調達難や燃料費をはじめとする物価高騰が当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

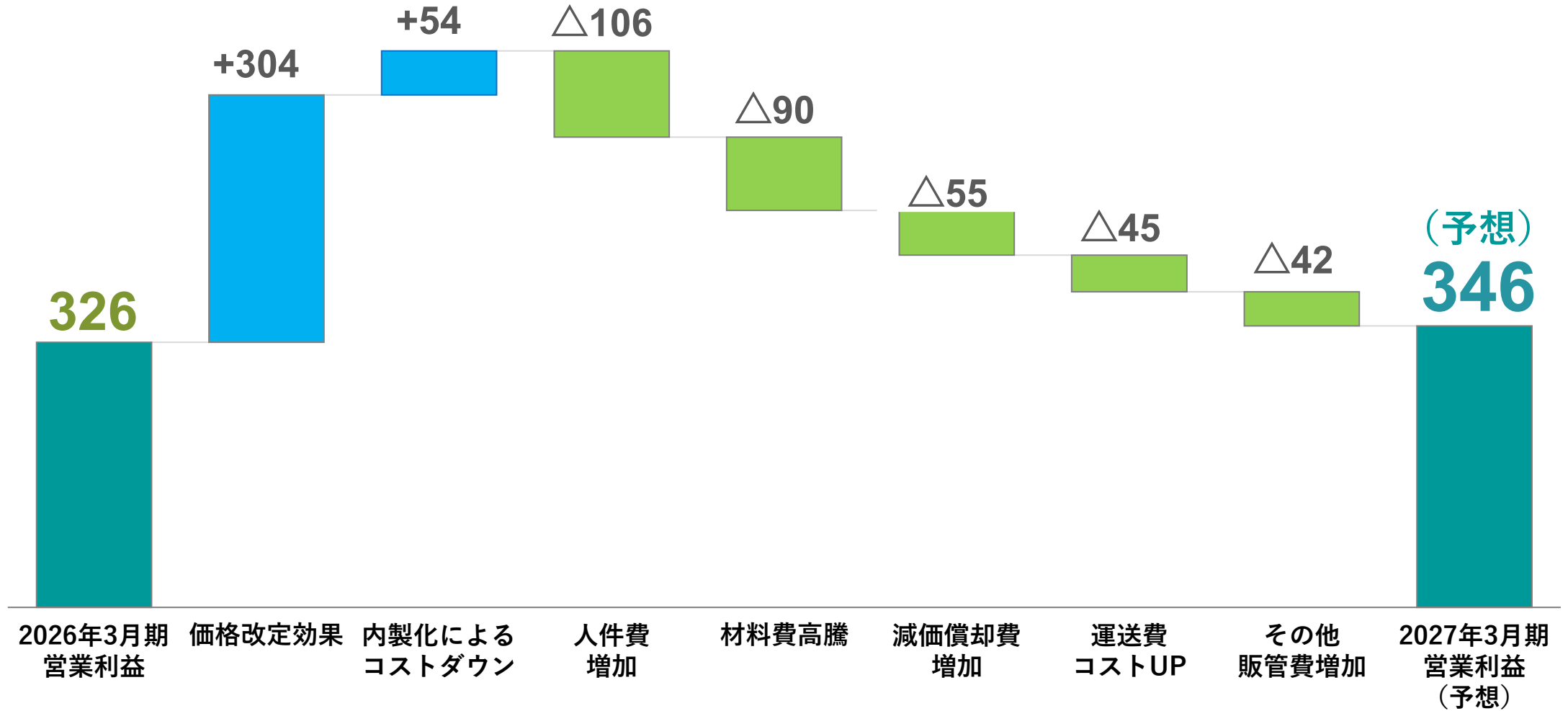
2027年3月期業績予想の概要

(単位：百万円)

	2026/3期実績		2027/3期予想					
	金額	売上高比率	上期予想	下期予想	通期予想	売上高比率	前年増減	前期比
売上高	6,548	-	3,500	3,500	7,000	-	452	6.9%
営業利益	326	5.0%	150	196	346	4.9%	20	6.1%
経常利益	376	5.7%	168	210	378	5.4%	2	0.5%
当期純利益	205	3.1%	109	139	248	3.5%	43	21.0%

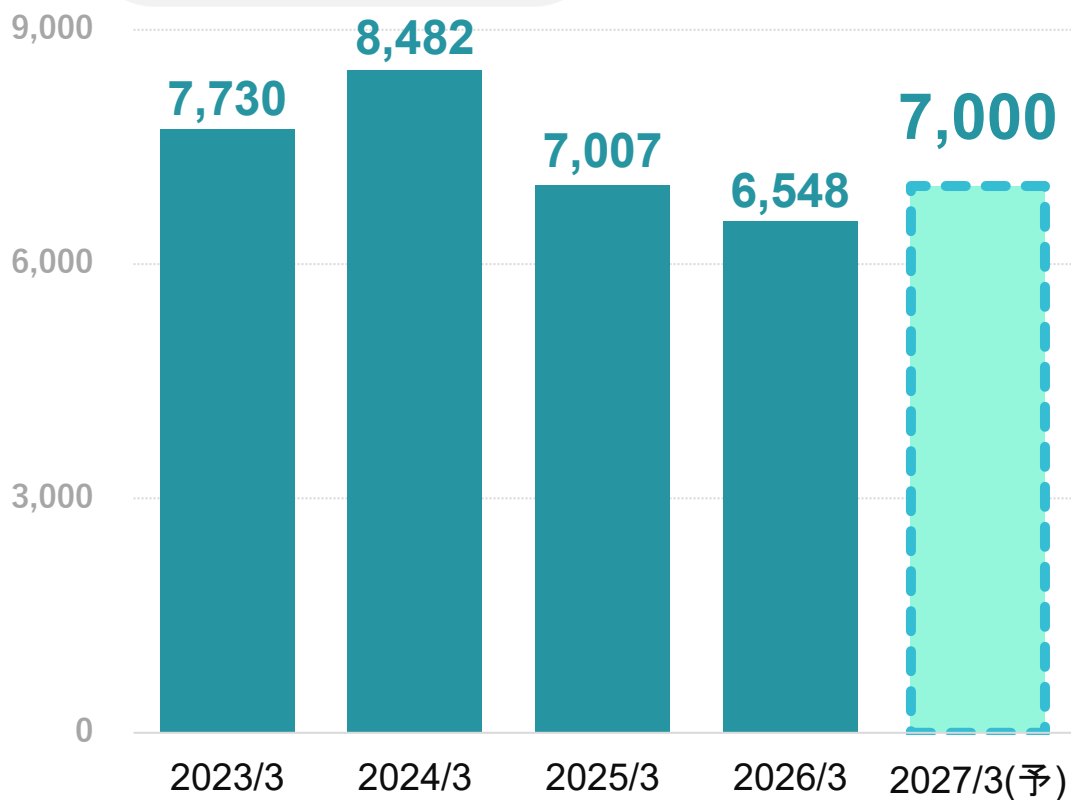
価格改定効果を見込み増益予想

（単位：百万円）

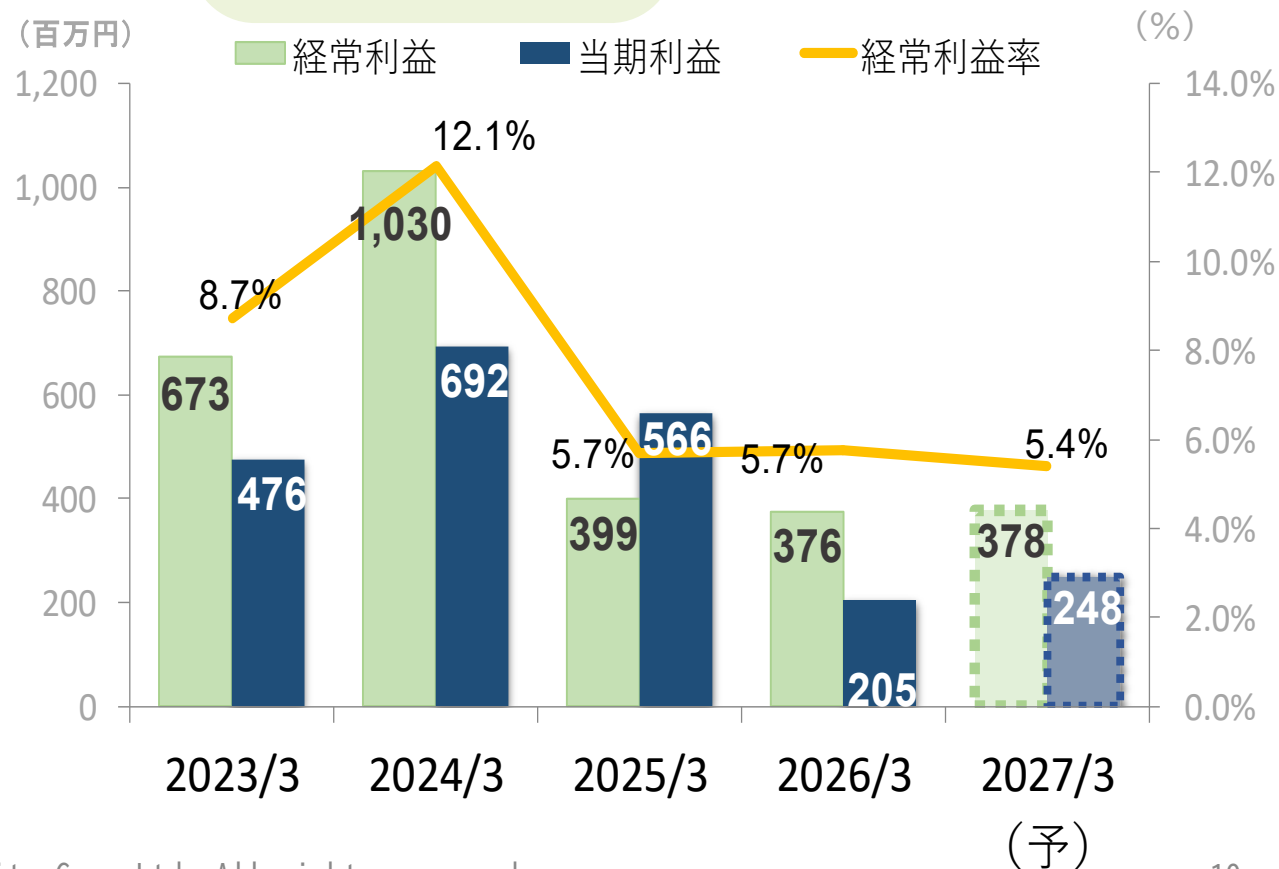


- 2023/3月期は、エサづくり関連作業機の伸長や、除雪作業機の早期受注活動により増収。
- 2024/3月期は、国内・韓国市場での細断型シリーズの受注が増加し増収。
- 2025/3月期は、海外市場での売上の減少や、エサづくり関連作業機・除雪作業機の売上が減少し減収。
- 2026/3月期は、細断型シリーズの売上が減少し減収。

売上高



利益



単位：百万円

	売上高	設備投資額	売上高比率	減価償却費	売上高比率	研究開発費	売上高比率
2025/3月期	7,007	711	10.1%	236	3.4%	120	1.7%
2026/3月期	6,548	353	5.4%	273	4.2%	104	1.6%
2027/3月期 (計画)	7,000	380	5.4%	331	3.1%	132	1.9%

2025/3月期

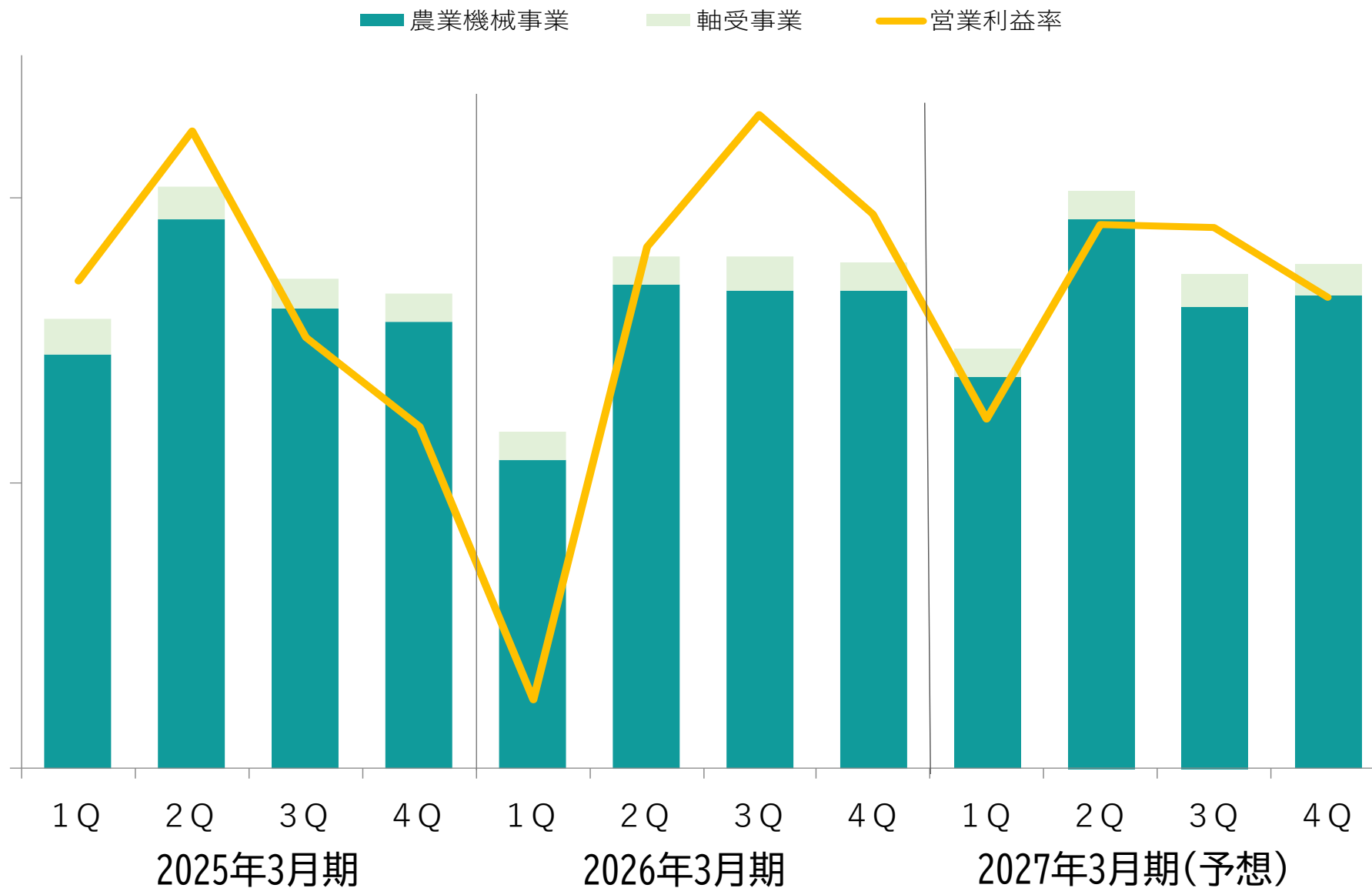
- ・ 本社敷地内に生産力増強に寄与する溶接工場の新設及びその関連設備(2025年1月竣工)
- ・ 間接業務DX化のためのシステム導入等

2026/3月期

- ・ 農機工場におけるファイバーレーザー加工機更新やCNC旋盤の導入
- ・ 業務効率化に向けたシステム導入等

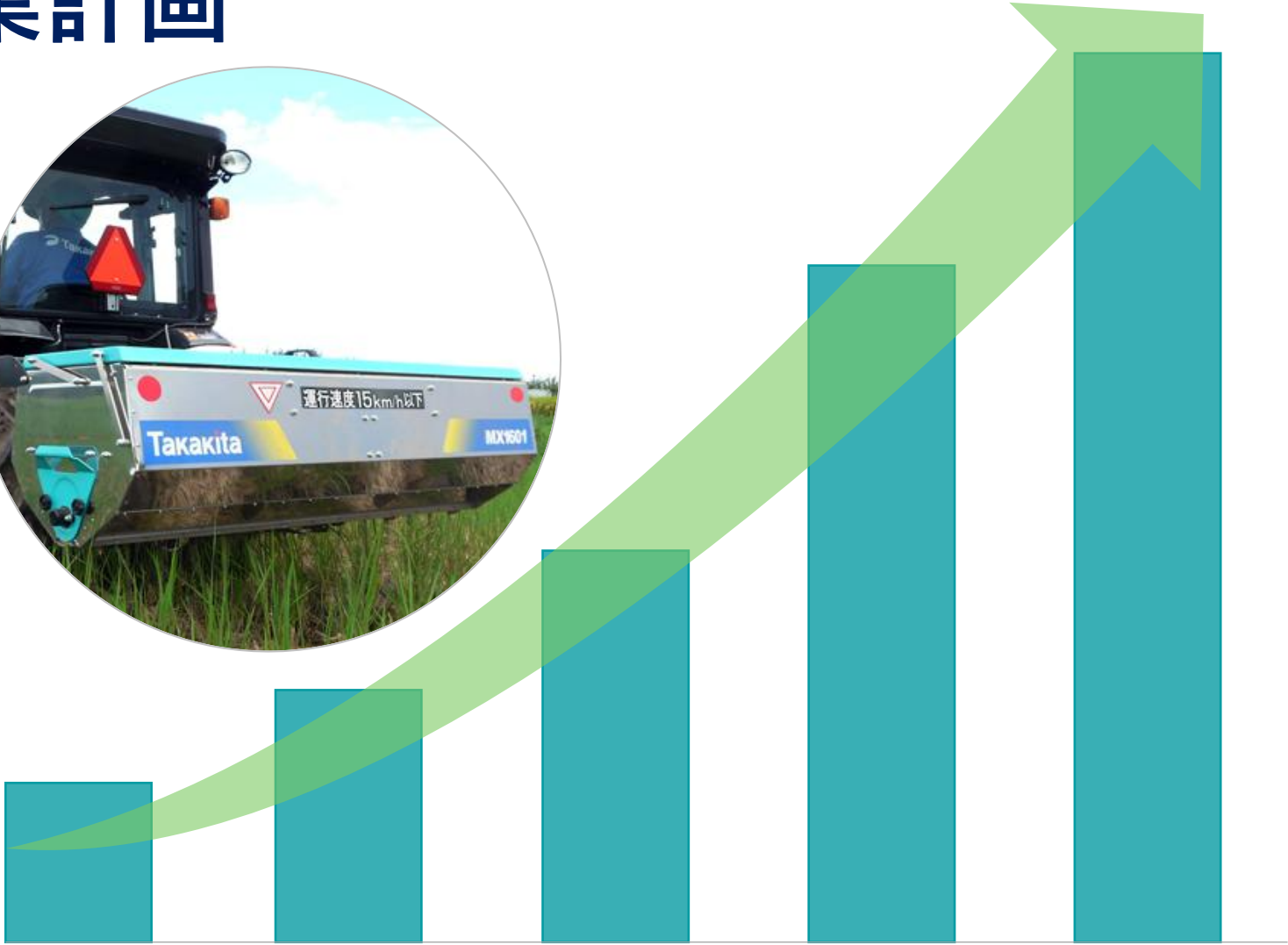
2027/3月期

- ・ 軸受工場の大型旋削ライン更新・新システム導入
- ・ 本社工場のブレーキプレス更新

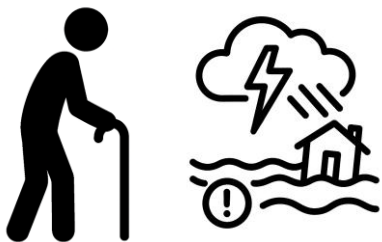


3

第2期中期事業計画



①環境



- 高齢化・担手不足
- 食料需要増加
- 世界人口増加
- 飼料及び肥料価格の高騰
- 異常気象の頻発化

②課題



- 生産コスト増大
- 食料自給率低下
- 農業所得減少
- 新規就農者の定着

③政策



- **みどりの食料システム戦略**
- **新たな食料・農業・農村基本計画**
 - ①スマート農業推進
 - ②環境負荷低減・循環型農業の推進
 - ③国産飼料・資源活用の拡大
 - ④食料安全保障の強化

みどりの食料システム戦略
新たな食料・農業・農村基本計画



タカキタが貢献できること

スマート農業の推進



整地作業機
(マルチグレーダ)

環境負荷の低減



堆肥散布作業機
(自走マニアスプレッダ)

食料自給率向上への貢献



複合作業機
(コンビラップマシーン)

Offensive120

期間:2023年4月 ~ 2033年3月 までの10年間

第1期中期事業計画 (2024年3月期~2026年3月期)

スローガン

『やり切る執念 次代へ挑戦 Offensive120』

2026年3月期 財務目標

売上高**85**億円 営業利益率**8.5**% ROE**10.0**%以上

- 2024/3期において営業利益率が目標を上回り、過去最高益を更新するなど、一定の成果をあげたものの、2025/3期以降は畜産・酪農分野を取り巻く市況の低迷や、海外市場の変動、資材高騰等の外部環境の大きな変化もあり、売上高及び各利益指標が低下

	2024/3期	2025/3期	2026/3期
売上高	8,482	7,007	6,548
国内農機事業	7,170	6,179	5,924
海外事業	861	380	208
軸受事業	450	448	415
営業利益	972	344	326
(営業利益率)	11.5%	4.9%	5.0%
ROE	9.4%	7.2%	2.5%

課題認識

① 特定市場・分野への依存

畜産・酪農分野への依存度が高く、市場環境の変化がそのまま業績に直結する収益構造



② 開発・生産のスピード不足

農業現場のニーズ変化に対し、製品開発・供給が十分に追隨できていない状況



③ 海外展開

農業機械事業における成長ドライバー。
特定地域への依存脱却し、多角的なグローバル展開が必要。



対応戦略

市場多角化の推進

水田・畑作・果樹市場への製品投入と実演展開を強化し、成長機会を拡大

開発力・生産基盤の強化

スマート農業製品の投入、本社・札幌工場の連携強化、ロボット化・自動化による収益基盤の構築

グローバル市場の深耕・拡大

韓国・欧州の深耕、北米を成長領域に位置付け、豪州・ASEANへの展開でブランド確立を目指す

これらの施策を着実に実行し、成長軌道への回帰とV字回復を実現

第2期中期事業計画 スローガン

『変革スピードを加速し 確かな成長軌道へ Offensive120』

長期経営計画の全体像

第1期中期事業計画
24年3月期～26年3月期

基盤確立期（終了）

第2期中期事業計画
27年3月期～29年3月期

収益構造改革
V字回復期

第3期中期事業計画
30年3月期～33年3月期

持続的成長期

長期経営計画 Offensive120

【2033年3月期 財務目標】

売上高 **100** 億円 うち海外売上高 **20** 億円 ROE・ROIC **10**%以上



MULTI GRADER

※乾田直播栽培とは・・・
田に水を張らず畑のような状態で種を
直接まく稲づくり。

(作業動画)

※GNSSレベリングシステムが別途必要になります



SELF-PROPELLED MANURE SPREADER

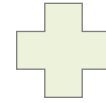
(作業動画)



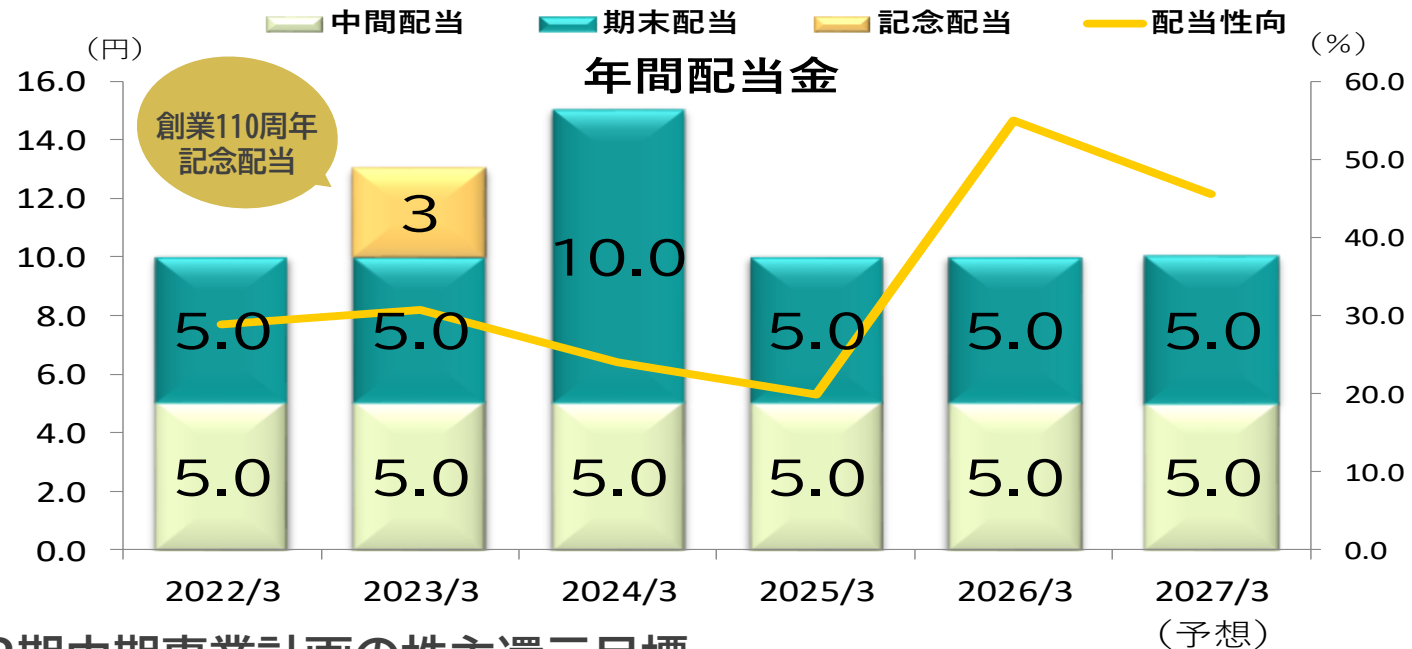
(作業動画)

株主の皆様の期待に応える利益還元を目指す

経営基盤の強化による
株主資本の充実



継続的、安定的に
適正レベルの配当



第2期中期事業計画の株主還元目標

安定配当を基本に、配当性向30%以上を目安とする

- ・長期保有株主優待の追加（移行経過措置あり）
- ・QUOカードを廃止し、利便性と環境負荷低減を目的に電子マネー・ポイントへ

優待内容

電子マネー・ポイントに交換可能なキャッシュレスポイント

（お選びいただけるキャッシュレスポイントの一例）

- ・ PayPayポイント ・ amazonギフトカード ・ auPAYギフトカード
- ・ nanacoギフト ・ EdyギフトID ・ QUOカードPay ・ GOチケット
- ・ Apple Gift Card ・ Vプリカギフト

継続保有期間と保有株式数	優待品	基準日
1年以上継続して100株以上を保有	キャッシュレスポイント1,000円	3月末
1年以上継続して1,000株以上を保有	キャッシュレスポイント2,000円	
3年以上継続して100株以上を保有	キャッシュレスポイント1,500円	
3年以上継続して500株以上を保有	キャッシュレスポイント2,000円	
3年以上継続して1,000株以上を保有	キャッシュレスポイント3,000円	

対象株主

毎年3月末、9月末現在において、当社株主名簿に、同一株主番号で保有株式数以上の保有が1年以上または3年以上継続して記載または記録された株主様。

お届け時期

毎年、6月下旬にご案内書面を発送予定です。

本日は、ご清聴ありがとうございました。

【お問い合わせ先】

株式会社タカキタ 管理本部経理部

E-mail:soumu@takakita-net.co.jp

TEL: 0595-63-3111

ホームページ: <https://www.takakita-net.co.jp/>

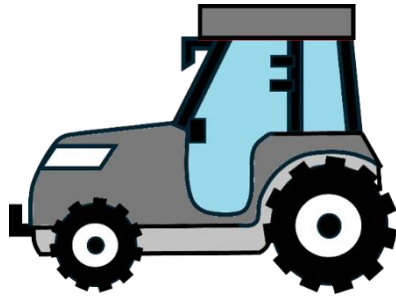
■本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なりスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

(ご参考資料) 事業概要



トラクタメーカー
クボタ イセキ
ヤンマー など



トラクタ

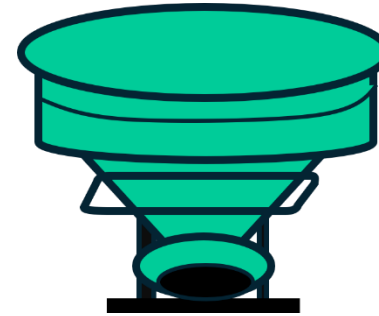
実作業を提供

走行動力源



作業機メーカー

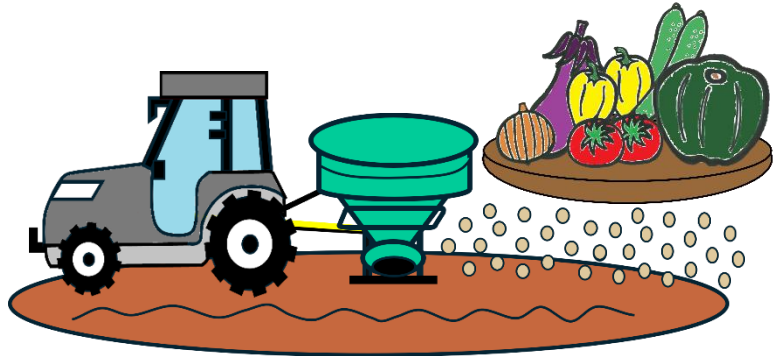
Takakita



作業機

有機肥料散布

有機野菜



牧草収穫・梱包



安全安心な国産の
エサづくり



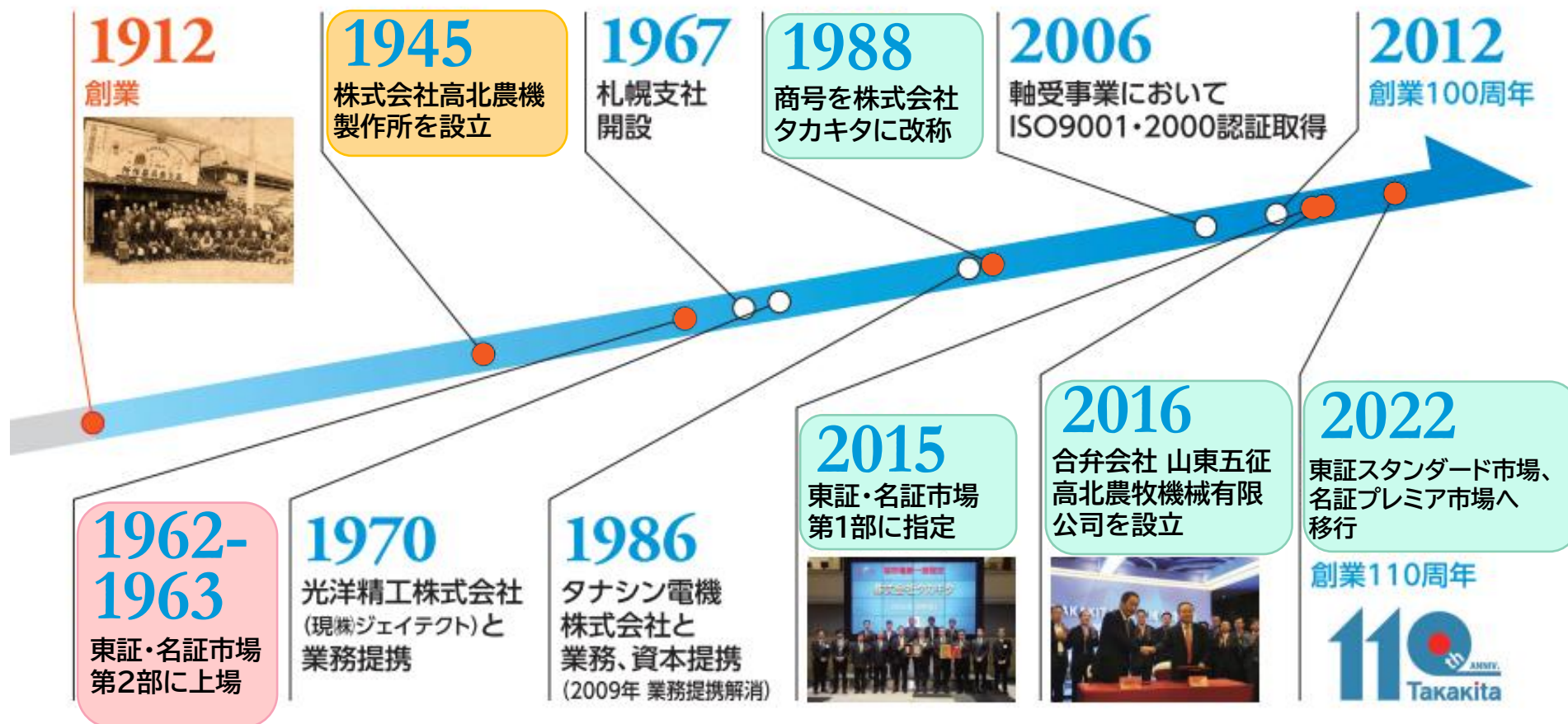
商号	株式会社タカキタ (Takakita Co., Ltd.)
本店所在地	三重県名張市夏見2828番地
代表者	代表取締役社長 藤澤 龍也
創業年月 設立年月	1912年(明治45年)1月 1945年(昭和20年)3月
資本金	13億5,000万円
発行済株式数	14,000千株
決算期	3月
事業内容	農業機械の製造販売及び軸受加工
従業員数	270名(パート、アルバイトを除く) ※2026年3月31日現在
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所プレミアム市場

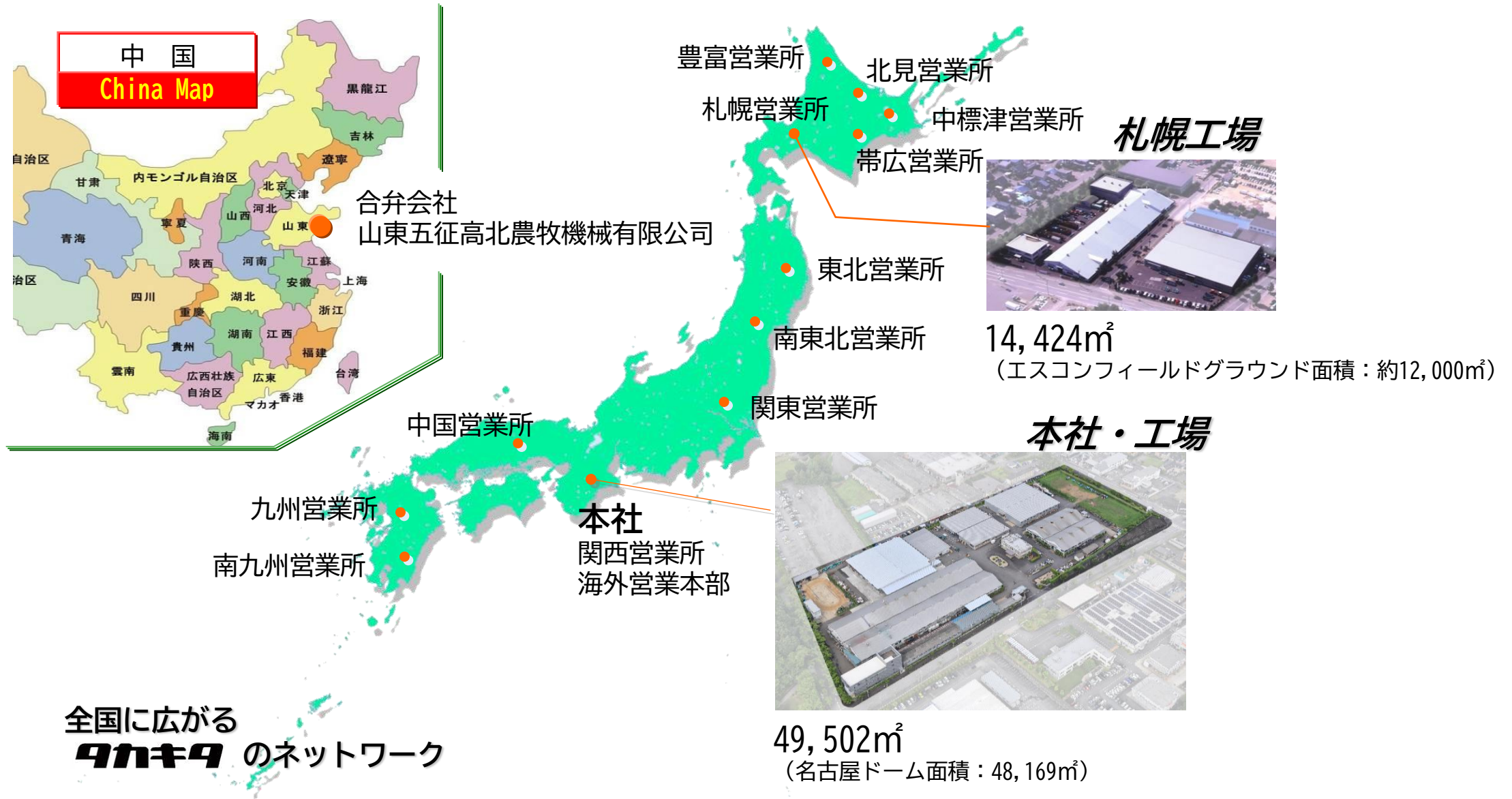


代表取締役社長
藤澤 龍也

会社スローガン
豊かな未来への道をつくる
恵み豊かな大地を守る

タカキタのあるべき姿 “Vision”
 《貢献》 社会の課題を独自の価値観による製品提案で解決する
 《信頼》 製品開発でグローバルニッチ市場のニーズに応える
 《CS》 お客様の「期待」を超える製品・サービスを提供する





農機事業が中心

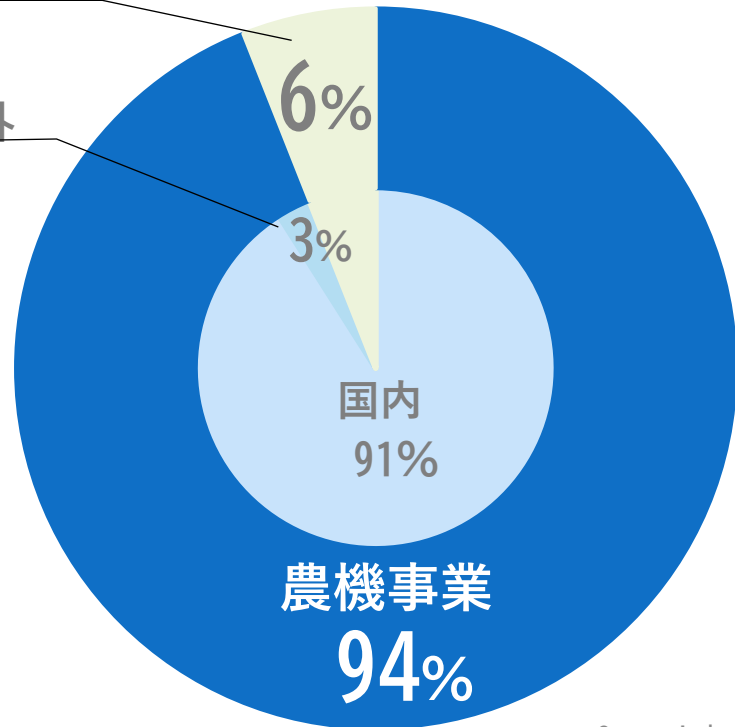
2025年3月期

売上高

65億48百万円

軸受事業

海外



【農業機械事業】

畜産酪農用飼料収穫機、土づくり作業等の農業機械の製造・販売



【軸受事業】

大型ベアリングの旋削加工及びコロの研磨





土づくり①
肥料散布の現場



土づくり②
液体肥料散布の現場



+



エサづくり
牧草梱包の現場

給餌作業機



トラクタ用給餌車

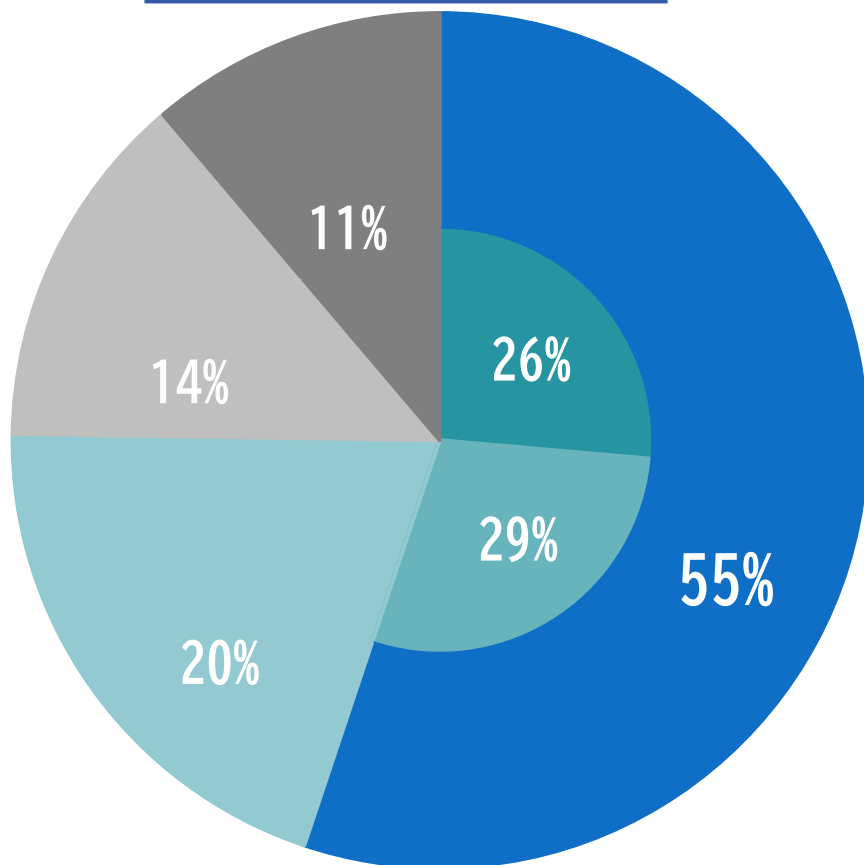


自走式給餌車

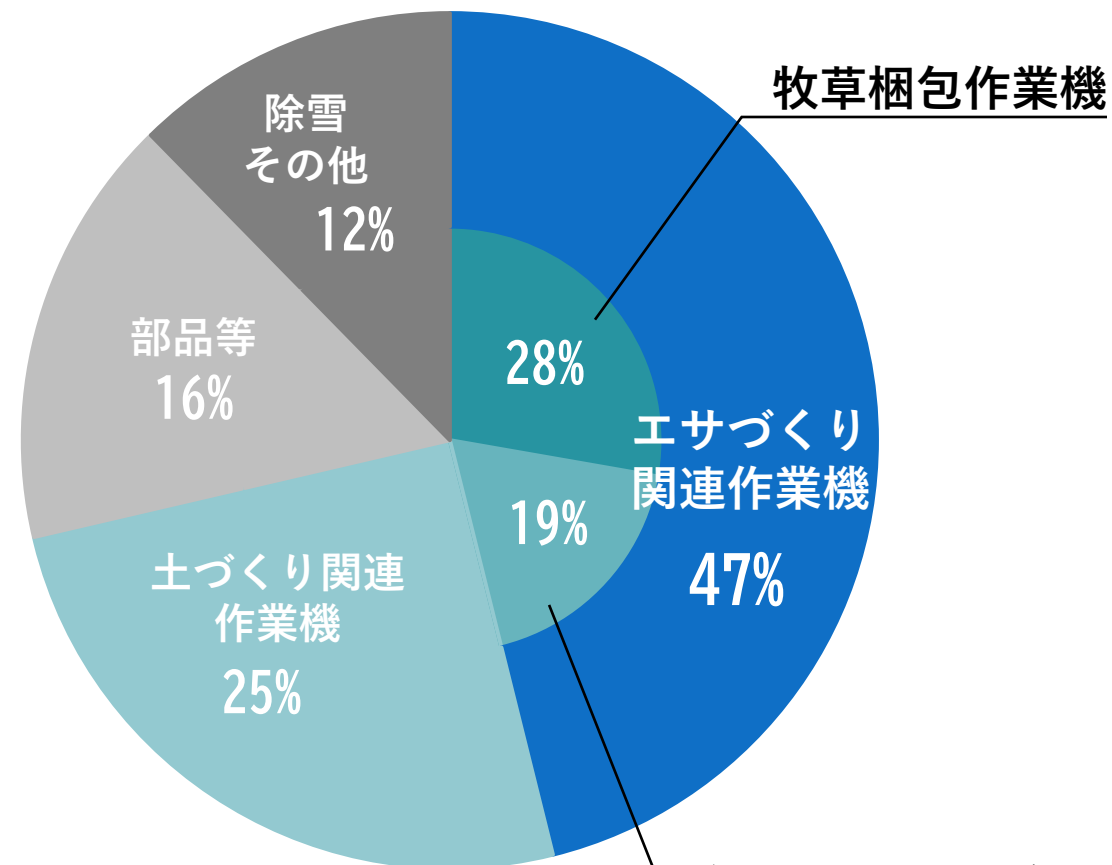
除雪作業機



2025年3月期



2026年3月期



土づくり関連作業機が5pt伸長



タカキタの特長・強み

農業機械事業

製品完成までの流れ

原材料入荷



ファイバーレーザー加工



プレス



ブレーキプレス



溶接ロボット



塗装



組立



出荷・納品

材料切断から組立まで一貫生産

少量多品種のフレキシブルな生産が可能

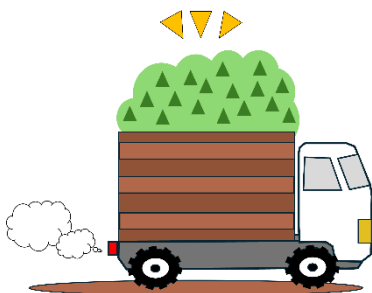
トウモロコシのサイレージ化は、人手と手間がかかる

サイレージ: 作物を発酵させて作る家畜用飼料

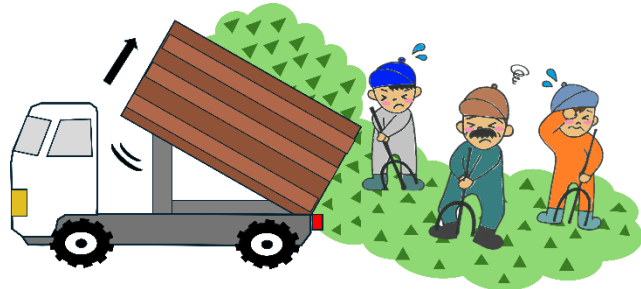
7月～8月の炎天下酷暑の中・・・



刈取・収穫



運搬



荷降・踏圧



密封・貯蔵



スタックサイロ体系

例えば1haの収穫をする場合・・・

6人で
約15時間(1ha)
延べ90時間

細断型ロールベータで

世界初の独自技術

大幅な省力化!



細断型ロールベール
サイレージ体系

同様に1haの
収穫をする場合…

85%
削減

2人で
6.96時間(1ha)
延べ約14時間

2人でラクラク

楽だよ~!!



高品質サイレージ

サイレージ物流化

細断型ホールクロップ収穫機



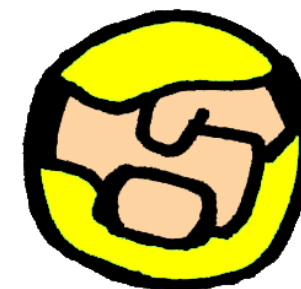
飼料用イネ収穫の様子

稲発酵粗飼料(WCS)は、水田で生産できる良質な粗飼料として、耕種農家・畜産農家の双方にメリット。

耕畜連携イメージ

ホールクロップ
(飼料用イネ)

耕種農家



畜産農家



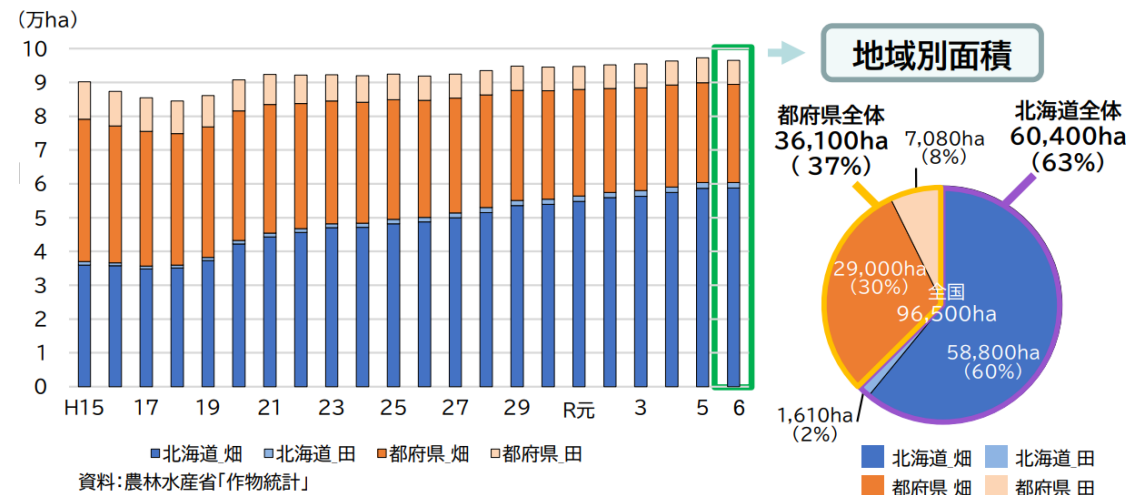
堆肥

汎用型微細断飼料収穫機



飼料用トウモロコシ収穫の様子

○ 飼料用トウモロコシの作付面積



○ 飼料用イネの作付面積 (ha)

R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
42,453	42,791	44,248	48,404	53,055	56,479	48,896

前年比
△13%

○ 飼料用米の作付面積 (ha)

R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
72,509	70,883	115,744	142,055	133,925	98,666	46,004

前年比
△53%

資料：農林水産省「新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況および取組計画届出状況」

持続可能な農業生産のためにも、国産飼料の生産・利用の拡大を進めることが重要



汎用型微細断飼料収穫機
SMR1030+SMR-MH5

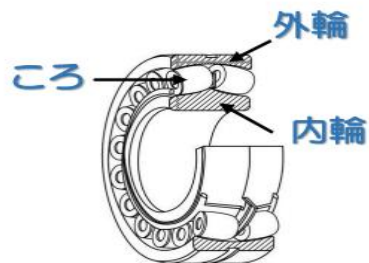
軸受事業

光洋精工(現ジェイテクト)との業務提携で1970年にスタート

業務内容

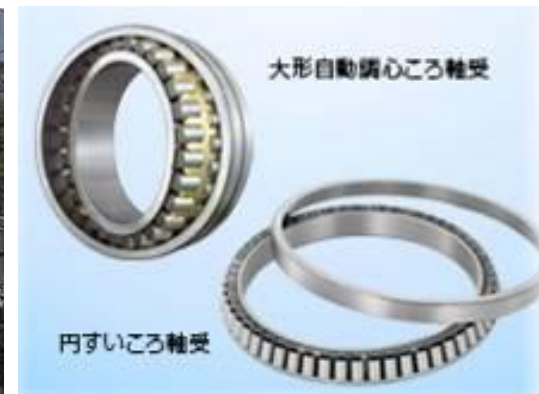
- ・200mmから1,200mmの大型ベアリングの部品加工
- ・大型ベアリングの内輪・外輪の旋削加工、ころの旋削加工、ころの研磨加工

ベアリングの構造



使用用途

製鋼所関係、建設機械、新幹線を含む鉄道用、その他産業用機械等



軸受以外の加工領域への拡大にも取り組む